

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「撮取不捨」  
せつしゆふしや

慈光照護のもと、門信徒のみなさまには心静かに新年を迎えられたことと思います。

昨年は大雪に始まり、各地で地震や豪雨などの大きな災害に見舞われました。西光寺のご門徒や親戚、知人なども被害に遭われました。今年は穏やかな年であつてほしいと願いますが、こればかりはわかりません。

今年の年賀状は、阿弥陀さまから逃げる住職とイノシシを絵にしてみました。「必ず浄土に救いとするから私にまかせよ」と喚び続けていてくださるご本願を聴いていても、やっぱり煩惱のままに欲を出し、腹を立て、なんにもわかつてない私（凡夫）を真つ先に救うと立ち上がられたのが阿弥陀という如来さまです。宗祖親鸞聖人は次のようなご和讃を詠まれました。

## 十方微塵世界の

念仏の衆生をみそなはし

撮取してすてぎれば

阿弥陀となづけけたてまつる



(十方の数限りない世界の

お念仏申す衆生をずつと見ておられ

撮めとつて決して捨てないおはたらきを

阿弥陀と申し上げるのである)

また、親鸞聖人はこのご和讃を書かれた横に、注釈を加えていらつしやいます。「撮めとる。ひとたびとりて**永く捨てぬ**なり。**撮はものの逃ぐるを追はへとるなり**。撮はをさめとる。取は迎へとる」

『長く』ではなく『永く』つまり、捨てることは永遠にないということです。そして、阿弥陀さまの願いも聞かずにどこまでも逃げていこうとする私を追いかけてつかまえてくださるのだと味わわれていらつしやるのです。

こんなことを書いている私が、わかっている振りをしてなんにもわかつていないということが白日の下に晒されているわけですが、そんなことは阿弥陀さまは先刻ご承知というわけなのです。

浄土真宗は私の願いを叶えてくれる宗教ではありません。阿弥陀仏の願いを聞かせていただく宗教です。本願寺でも西光寺でもお守りもおみくじも売っていません。だから儲かりませんが、それでよかつたなあと思います。だって責任持てませんから。

今年も共に南無阿弥陀仏のお念仏を申し、思い通りにならない人生を、思い通りにならないままに歩ませていただきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年も昨年に引き続き、広島の福岡義朝先生からの年賀状を無断転載しようと思いません。みなさまにも味わっていただきたいなあという思いからで、決して紙面を埋めるためではありません(きつぱり)。

# 南無懺悔



南無阿弥陀仏のお念仏は讚嘆(ほめたたえること)であり、また懺悔(一般にはごんげと読みます)であると聖人は述べられています。

す。これまで猪突猛進で歩んできた人生も、ひよつとしたらたくさんの人を傷つけてきたのかもしれない。ふと振り返ったときに気づかされることもあるのでしよう。いつもながら考えさせられる年賀状です。

## 「年賀状について」

今年もご門徒のみなさまから年賀状をいただきました。ここ数年、寺からの年賀状は失礼させていただいております。どうかご理解いただき、今後は送ってくださらなくて結構かと存じます。

## 「テレビを寄付いただきました」

すでにブログではお知らせしていますが、前号にて余ったテレビがあつたらお寺に寄付してくださいますなどと気軽に書いてしまいましたところ、ご



門徒の田賀憲秀さまから、新品! の、60インチ! の大きなテレビをご寄付いただきました。誠に勿体なく、本当に有り難うございました。

せつかくのご寄付ですので、精一杯活用して、仏法でお返しさせていただきますと思っております。

## 「いろいろご連絡」

### ・ライン (LINE) は使えません

住職へのご連絡をライン (LINE) でくださる方がときどきいらつしやるようですが、住職はライン (LINE) の極初期に友人に誘われてアカウントを取ったものの、まったく使用しておらず、削除にも応じてもらえないため使えない状態です。ご連絡はメールまたはSMS (ショートメッセージ)。ただし定額での契約であつても一通3円かかります) あるいはお電話でお願いいたします。

### ・お念珠を修理します

ご門徒のみなさまがお使いになられて紐が切れたお念珠は、住職でも直せるものがございます。一度ご相談ください。また、不要なお念珠や仏具、経本などがありましたら捨てる前にご相談ください。

### ・十二月十八日にお米をいただきました

住職が不在だったため、寺の玄関の前においていただく方がいらつしやいます。ユニクロの袋に入っていました。どうか名乗り出てください。せめてお礼を申し上げます。

合掌

住職携帯 090-18967-17902  
メール soichiro4989@gmail.com  
ブログ 西光寺で最高時!